

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和8年 1月 21日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	ボランティア 桜の園の会 (担当者名: 高橋・澤井)
担当課名	阪南市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進室 (担当者名: 辻・森)
事業名	野外活動広場(桜の園)管理運営事業
事業の実施期間	令和7年(2025年)4月1日~令和8年(2026年)3月31日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続複数年(3年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

鳥取池に隣接した公共用地(一部借地)を活用し、公園施設として、様々な目的で来られた市民が堪能して安全に帰っていただけるよう、毎日の見回りや道路・施設の点検・早期の補修を行うとともに、山・池・川・樹木・鳥・植物等豊かな自然を活用し「また来たい」と抱くような雰囲気醸し出していく。火を扱える唯一の大切な場所であることを再確認したい。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	来場者の安全で快適な施設利用のため、日常の施設の運営・管理(トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等)
事業担当課	テントサイト、かまど、キャンプファイヤー場利用者の予約受付窓口

(3) 事業費

団体	0	円
市	166,094	円 委託費
合計	166,094	円

初年度の事業費計	166,094円	団体分担	0円	市分担	166,094円
2年目の事業費計	166,094円	団体分担	0円	市分担	166,094円
3年目の事業費計	166,094円	団体分担	0円	市分担	166,094円
年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	桜の園の会		
②開催日時	令和7年4月1日～令和7年12月31日		
③開催場所	野外活動広場 桜の園		
④対象者	桜の園利用者		
⑤参加人数	桜の園の会会員17名		
⑥事業の内容	桜の園の日常の施設の運営・管理 (トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等)		
⑦収益	0円		
⑧その他			
ボランティア・グループ 桜の園の会 2025年度実施行事・他			
	行事名	内容	場所
4月26日	阪南, 岬 子どもまつり	竹きり・展示、他	桃の木台小学校
4月27日	タンポポフェスタ	歌・音楽フェスティバル	桑畑グランド横
5月17～18日	第2回ぼっちキャンプ	桜の園キャンプ(雨で中止)	桜の園
7月19日	プレゼン	次年度以降の委託	市役所
7月25日	スズメバチ発生のため駆除、巣の回りロープ・トラップ・殺虫剤対応		桜の園
8月26日	生涯学習推進室・打ち合わせ会議		市役所
9月6日	桃の木台親水公園・草刈り		消防署・裏
10月16～19日	市民活動センター展示会(準備10月15日)		市民活動センター
10月26日	タンポポフェスタ	歌・音楽フェスティバル	桑畑グランド横
11月15～16日	第3回キャンプ	キャンプファイヤー(参加・9名)	桜の園
11月20日	生涯学習推進室・打ち合わせ会議		市役所
○年末大掃除・シーズン前や通常の草刈り・木こり隊の作業(通年)・その他ボランティア活動など			
○11月29日(土)17時30分於、はらっぱ 総会			
参加9名(浅井・川端・古根川・白石・早山・中瀬・南・澤井・高橋)			



阪南・岬の子どもまつり、桃の木台小学校。私たちの担当はノコギリ体験。初めて体験する児童が多く、力の入れ方や、刃の角度がポイント。



ぼっちキャンプ、夕食前の一場面。ギターやアコーディオンも登場。懐かしいフォークソングや民謡、近くにテントを張っていた小学生の親子も参加。



ササユリは今年3か所のうち、1か所のみ開花が見られました。天候の影響でしょうか？



桑畑、総合グラウンドの一角にある広場で歌・音楽・相撲甚句等の出し物、タンポポフェスタを実行委員会形式で年2回開催。



7月、かまどの奥2本目のソメイヨシノの桜。根元・土中にクロスズメバチが巣作り。威嚇を繰り返す中、トラップや殺虫スプレー等で撃退、全滅。被害なし。



かまど天井の柱に渡り鳥オオルリ？の巣。例年トイレで巣作り。



市民活動センター展示 井関川から男里川の生き物シリーズを展示。15cmのウナギやマハゼ・ゴクラクハザ・ヌマチチブ、クロホシマンジュウダイの稚魚等を展示。



桃の木台・親水公園での草刈りのボランティア活動。

- (5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

・令和7年4月1日から12月31日

コロナ期は世相を反映して利用数が高い数価が維持されてきましたが、今年度は比較的落ち着いた公園・キャンプ場として推移してきています。大きなトラブルは我々が知る限り全くなく、また大きな逸脱もほとんど見られず良好な雰囲気経過している様に思われます。(逸脱行動として、①直火、地面に直接たき火②水道水をお風呂代わりに大量に使用③枝の伐採等) 器物損壊は見られず。

おおよそ、シンプルな規則を守りつつ、自分たち一人ひとりのキャンプの流儀を模索し楽しんでいるのが伺えます。グラウンドの草刈り、トイレのそれなりの清潔さ、かまどやキャンプファイヤー場の清掃等、ボランティアの手が入ることにより、整然とした公園の雰囲気が利用者にも伝わっている様に伺えます。

利用者はリピーターが大半を占めている様です。自炊や料理等、火を上手く活用しながら焚き火を楽しむ・会話を楽しむ等

事業の参加メンバーは変わらずに推移している。

- (6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

- ・「自然と本の会」「はらっぱ」の活動に協力し、「桜の園で遊ぼう」等の行事にスタッフとして桜の園会員が参加。
- ・桜の老木化が進んでいるため、大阪緑の基金を活用した緑化樹配付事業に応募し、配付されるヤマザクラ(5本)を令和6年2月29日に植樹しました。植樹されて30年、ソメイヨシノは枝の一部が枯れる等かなり老木になりつつあります。毎年植樹を行う事で桜の園の雰囲気が保たれていくかと思われます。
- ・今後、紀泉高原のなかでの「桜の園」の役割、現在その中継地点としての駐車場・トイレ等の機能はあるものの、幅広い視点で捉えていけば動物や植物の多様性・自然の豊かさを学べるのではないかと思われます。植物や生物の専門知識とその提供があれば、興味は倍増するのではないかと思われます。
- ・今後双方に自然に関する記録を重ね市民に提供することで、興味関心が倍増するのでは、と感じます。

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点) ・あまりできなかった(2点)
 - ・できなかった(1点) ・評価項目として適当でない(N)

※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	4	4	4
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	4	3	3.5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4

事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	4	4.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	5	4.5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	3	2	2.5
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	3	3.5
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体にとって	凸凹道路の補修が行われることにより、悪路による危険度が減り、安全度が高まり、シニア運転手の精神的負担が一段と少なくなりました。
行政にとって	日常的に、給水施設への水の搬入や、施設の運営・維持管理が十分行われていること。
市民にとって	山間部の施設でありながら、日常的にトイレの維持管理や巡回など、施設の管理が行き届いていること。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体にとって	かまどの天井や屋根に一部破損状態が見られます。修理という点では予算を伴います。「条例の廃止」ととられず、何らかの形で予算化が必要かと感じます。また、緊急連絡手段の改善も必要です。(内線電話の配置、公衆電話の設置、電波塔など)
行政にとって	山間部であり、林道の維持管理や緊急連絡の手段が限られていること。水の運搬や施設の維持管理、施設の老朽化などに対する運営費用が十分でないこと。

市民 にとって	緊急連絡が十分できないこと
------------	---------------

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

あそこに行けば何か学んで帰ってくる事が出来る。何か楽しかったなあ、また来よう、という思いを抱いて帰路につける。そんな材料の提供が必要かなと思います。井関川にはウナギやギギ・ドンコや外来種のブラックバス・ブルーギル、トンボのヤゴや希少なランや珍しい花が沢山あります。日帰り・宿泊を通じて多様な経験に接することが出来る、観察としてもカリキュラム化されている等参加のためのモチベーションアップが欲しい。

- ① 桜の園 ハンドブックの編集
- ② ハイキングコースの紹介
- ③ 鳥取池の安全な活用
- ④ 歩いて連続した宿泊を伴うキャンプの経験
- ⑤ 伐採から薪作りで自主財源を。伐採できる山林の紹介。

維持運営のための自主財源について、①現在、園内で自炊・ファイヤー用の薪を無人販売し運営に活用、②府民の森 100 選になっている桜の園、来園者に負担の少ない形で出来るだけ多くの方に楽しんで頂ける方法は何か？ 今後、駐車場・トイレの有料化・クラウドファンディング等、検討していくことも必要かと思われる。有料であれば行くのを止めておこうとならない策が必要

(5) その他